

『アップあっぷウィーク』がはじまりました!!

長い長い2学期も、2か月ほどが過ぎました。過ごしやすいはなったとはいえ、まだ暑いなか、子どもたちは、運動会の練習を毎日頑張っています。

鳥飼小学校では、毎学期、相互授業参観週間(アップあっぷウィーク)を行っています。この2週間は、先生たちがお互いに授業の様子を参観し合い、放課後に授業内容や子どもたちの様子について交流します。この取り組みの目的は2つあります。一つは、鳥飼小学校の全学年の子どもたちのことを共有し、担任一人ではなく、鳥飼小学校の全教職員で、全児童を育てていくこと。2つ目は、お互いの授業の工夫や子どもたちへの関わり方を学び、授業力を高めることです。

この取り組みのおかげで鳥飼小学校では、いつ、だれが教室に入ってきてもお気にせず授業に集中できる教室になっています。開かれた教室は、明るく、居心地もよいものです。日常から参観しやすい雰囲気鳥飼小学校ですが、この2週間を有効活用して、どんどん居心地のよい学校になるよう全教職員でがんばっています。



1年生 図工

「いろいろなかたちのかみから」



紙切れの端から想像を膨らませ、様々なものに見立てて絵を描きました。

※友だちの作品の鑑賞文を書いているところです。

ほんものみたーい!
おいしそうでおなかへってきたあ。

2年生 国語

「そーだんにのってください」
～みんなで話をつなげよう～



ぼくだったら、〇〇するよ。

わたしは、こう思うよ。

3年生 総合

「沖縄から学ぶ」



(考えを出し合うとき)

- ・自分と同じかどうか話す。
- ・いつもんやかんそうをはなす。
- ・話ぐりかえして、たしかめる。
- ・ちがうときは、理由を話す。

上記のように観点を示し、班の友だちと話し合いをました。

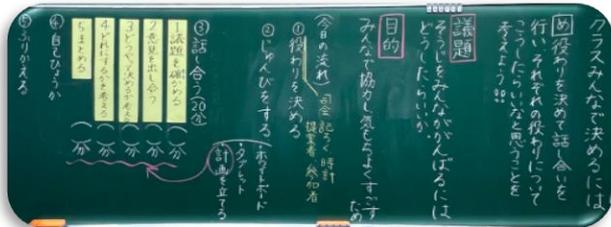
テーマを決めて、一人一人沖縄について調べました。わかったことをタブレットにまとめて、発表し合いました。

沖縄博士になれるね!



4・5・6年生【国語】 同じ「話すこと・聞くこと」の学習ですが、学年が上がるにつれて少しずつレベルアップしているのがわかります。

4年生「クラスみんなで決めるには」
～役わりをいしきしながら話し合おう～



【たいせつ】

(司会グループの役わり)

- ・多くの参加者の意見が出るように、工夫して進行する。
- ・出された意見や、どうやって決めるかなどを、黒板などで整理して示す。

(参加者の役わり)

- ・自分の立場を明らかにして、積極的に発言したり質問したりする。

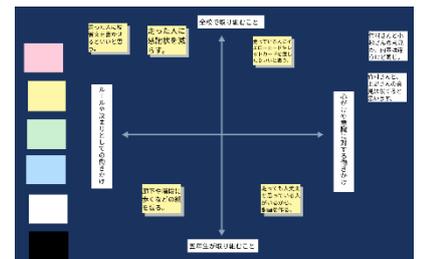


5年生「よりよい学校生活のために」
～たがいの立場を明確にして話し合おう～

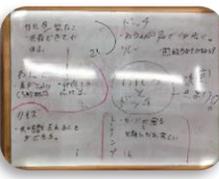
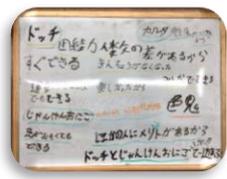
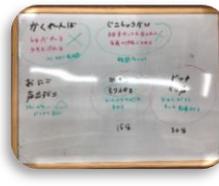


【たいせつ】

- ・目的や条件、進行計画に沿って話し合い、考えを広げたりまとめたりすること。
- ・質問を通して互いの考えをよく聞き、共通点や異なる点をはっきりさせる。
- ・立場や考え方が違う人どうして話し合うと、新たな解決方法が見つかることがある。



6年生「みんなで楽しくすごすために」
～目的や条件に応じて、計画的に話し合おう～



【たいせつ】

- ・目的や条件を確かめる。
- ・自分の主張や理由、根拠を明らかにして話し合いに臨む。
- ・互いの考えをよく聞き、問題点を見つける。
- ・考えを広げる話し合いと、まとめる話し合いをくり返して、結論に向かう

4年



最後の場面のごんの気持ちを、しっかりと想像しているのがわかります。

「青いけむり」を「悲しさ」と結びつけているところも、情景描写を感じ取りながら読んでいる証拠ですね。学習したことを、ちゃんと生かしながら日記を書いています。

山崎先生

四年生児童

ぼくは、今日もつぐないに行った。くりを持って兵十の家に行き、いつ気づくだろうと思った。兵十は縄をなっていて、うら口から入ることにした。そしたら兵十がいきなりうって来た。なんでもうって来たかは知らないけど、すごい良かった。死ぬのかなと思った。そしたら兵十が何かを見て、「ごん、おまいだったのか」と言った。ぼくは、気づいてくれたのかと思った。

ぼくは、「青いかなしいけむり」を見て、うたれていたかった場所が、いたく感じなくなりました。目も閉じて、開かなくなりました。

「ごんぎつね」を学習し、場面ごとに
ごんになって日記を書きました。

ごんダイアリー(最後の場面)

5年



運動会に向けて

様々な言葉を使って、自分の想いを表現することができました。

「達成感にあふれる運動会」という表現がとても素敵です。読むと、心の中で自然と応援してしまいました。

赤尾先生

ぼくは、みんなの思い出に残るような運動会にしたいです。

まず、個人的に頑張りたいことは、百メートル走です。理由は、今までの四年間、五・六年生のリレーでは、自分が参加しているわけではなけれど、「頑張つて。」と応援していました。そのリレーに、ついに出ることになったので母を感じさせられる運動会にしたいです。

そして次に頑張りたいことは、フラッグです。理由は、フラッグを運動会で初めてやるけれど、終わったあとに、「終わった…。」という風になれる運動会にしたいです。

このように、ぼくは自分やたくさんの方が感動できるような運動会にしたいので、一分一秒をがんばり、練習に熱を上げ、達成感にあふれるような思い出に残る運動会にしたいです。

五年生児童

6年

見たり聞いたりした事実から、自分が考えたことや、感想が書かれていて、読み手に伝わりやすい構成となっています。

坂本先生



六年生児童

大切な事を教えてくれた場所

私たちが6年生は校外学習でピースおおさかへ行ってきました。

はじめに、班行動で戦争の時持って行ったものや着て行った服が展示されているところに行きました。私は戦争のときの食卓を見て、とても少ない食事がその人たちにとってはどうかなんだとわかりました。

次に、映画を観ました。妹を失ったり、人がなくなっていたりするのを見て、心が痛くなりました。

最後に、語り部さんのお話を聞きました。戦争の時、親とはなれてくらしていたことや、食べ物のお話が終わった後、私たちは大阪城公園へ向かい、お弁当を食べました。つらいことを知ってきた後だったので、食べ物のありがたみの気持ちでいっぱいでした。

私は今日、そのつらさを知れて、今のおだやかな生活をとてもありがたく感じました。

みてみて♡鳥っ子エッセイ No.6

1年



みてみてーねんせいのすてき

みんなのおうえんにちからをもらってがんばるすがたがめにうかびます。しもてせんせい

ーねんせいのすてきなどころは、みんながくふうしておうえんをしてもらえるところですよ。どうしてかというところ、ちからがでるからです。みんなのちからをかります。

一年生児童



「はじめ」「中」「おわり」の構成がしっかりできています。また、「おわり」のまとめの言葉も上手に書けています。木村先生

あらすじやすきなところを詳しく書くことができました。ことばづかいもていねいに書けました。栗田先生

2年

お気に入りの本をしょうかいしよう！



まほうのじどうはんばいき

わたしのお気に入りの本は、やまだともこさんの「まほうのじどうはんばいき」です。

この本には、こうせいという男の子が出てきます。こうせいさんは、にじいろのじどうはんばいきを見つけた。ほしいものがいっぱい出てくるじどうはんばいきでした。

わたしもそんなじどうはんばいきがあったらいいなとおもいました。ぜひよんでください。

二年生児童

ふしぎの国のアリス

わたしのお気に入りの本は、ティースレイターさんの「ふしぎの国のアリス」です。

この本には、アリスという女の子が出てきます。アリスが白うさぎをさがしてまいごになります。女王とクローケをするとアリスがねことして女王がひつくりかえります。

アリスがパーティーをしているところがすきです。みなさんもぜひ読んでみてください。

二年生児童

3年

む人とうにもっていくもの



もしむ人とうにいくなら、わたしはタオルをもっていくます。あと、ランタンつきのテントと人形をもっていくます。

タオルはぬれたときに体をふくためにつかいます。雨がふったときや川のシャワーをあびたときにシナモロールのタオルで体をふきたいです。つぎに、わたしはくらいところながてなので、ランタンつきのテントをもっていくたいです。ランタンのひかりがあればくらいよるもこわくないです。そこに人形があればあんしんしてねむることができます。

この3つのもちものがあればたのしくすごせます。たのしくいきもちでむ人とうです。ごしたいです。

三年生児童

無人島に持って行く理由がよくわかりました。まとめ方がとても上手です。

柳田先生

